京都市
CITY OF KYOTO

＜報道発表資料＞

令和８年１１月１２日
京都市環境政策局環境企画部環境保全創造課

京都市環境審議会

「令和８年度第１回生物多様性保全検討部会」の開催

京都市では、生物多様性プラン（2021-2030）に基づく取組の進捗状況を把握するとともに、生物多様性保全について必要な検討を行うため、京都市環境審議会の下に「生物多様性保全検討部会」を設置しています。

この度、同部会を開催します。

【部会の概要】

- 開催日時　令和８年１１月１７日（火）午前１０時～正午
- 開催場所　京都市環境政策局会議室（京都市役所 本庁舎１階 環境総務課執務室内）
  〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町４８８番地
  ※　対面及び Teams 使用の Web 会議を組み合わせたハイブリッド形式で開催



＜アクセス＞
京都市営地下鉄東西線「京都市役所前駅」下車すぐ
京都市営バス「京都市役所前」下車すぐ
※　駐車場はありませんので、公共交通機関を御利用ください。

- 議題　⑴　京都市生物多様性プラン（2021-2030）に掲げる施策の取組状況等について
  ⑵　京都市生物多様性プラン（2021-2030）の評価指標の検討状況について
- 委員構成　学識経験者等９名で構成（別紙参照）
- 傍聴　⑴　傍聴定員　３名
  ⑵　傍聴希望者の受付は、当日の午前９時４５分から開始します。
  なお、希望者多数の場合は先着順とします。
  ⑶　報道機関の方には、別途、座席を設けます。

＜参考１：京都市環境審議会について＞

京都市環境審議会は、京都市の環境の保全に関する重要事項等を調査及び審議し、意見を述べるため、京都市環境基本条例に基づき設置された市長の諮問機関です。

＜参考２：３０ｂｙ３０目標達成に向けた取組について＞

世界では依然として生物多様性の損失が続き、早期にそれを食い止め、むしろ増大させなければ、取り返しのつかない事態になることが危惧されています。こうした中、３０ｂｙ３０等の達成に向けた機運の醸成と具体的な取組の促進を図るため、有志の企業・自治体・団体による「生物多様性のための３０ｂｙ３０アライアンス」が発足しました。京都市は令和５年７月に参加し、３０ｂｙ３０目標の達成に向けて取り組んでいます。

「生物多様性のための３０ｂｙ３０アライアンス」のロゴマーク

＜お問合せ先＞

京都市環境政策局環境企画部環境保全創造課
電話：075-222-3951

京都市
CITY OF KYOTO

別紙

京都市環境審議会 生物多様性保全検討部会 委員名簿

	氏　　名	所　　属	専門分野
	石原（いしはら）　正恵（まさえ）	京都大学フィールド科学教育研究センター 森林生態系部門森林育成学分野　准教授	森林生態学
	小野（おの）　克己（かつみ）	京都森林インストラクター会　理事 日本鱗翅学会京都府自然保護委員	
	川瀬（かわせ）　成吾（せいご）	滋賀県立琵琶湖博物館　主任学芸員	魚類系統分類学
	瀧（たき）　健太郎（けんたろう）	京都大学防災研究所水資源環境研究センター 社会・生態環境研究領域　教授	流域政策・計画
	田村（たむら）　暢慶（のぶちか）	京都市環境審議会市民公募委員（第１６次）	
	寺田（てらだ）　喜則（よしのり）	公益社団法人京都工業会環境委員会　委員長	
	丹羽（にわ）　英之（ひでゆき）	京都先端科学大学バイオ環境学部生物環境科学科　教授	景観生態学
	福井（ふくい）　亘（わたる）	京都府立大学大学院生命環境科学研究科　教授	緑地計画学 景観生態学
◎	湯本（ゆもと）　貴和（たかかず）	京都大学　名誉教授 きょうと生物多様性センター長	保全生態学

◎：部会長　　（敬称略、五十音順）